

令和5年度 全国男女共同参画週間の キャッチフレーズに選出された 戸塚俊作さん(掛川西高校3年生) にインタビュー



Q1. キャッチフレーズの募集を知ったきっかけは？

インターネットで、何か自分にできることはないかと探していたところ、今回の募集を知りました。

Q3. 最優秀作品に選ばれ、ポスターになった今のお気持ちは？

選ばれたときは、「まさか自分の作品が選ばれるなんて!!!」と驚きました。
キャッチフレーズとしては、少し長いかなと思ったが、思いを伝えたいと思って考えたので、ポスターでたくさんの人に見てもらえて良かったです。

Q5. (高校生の視点から)男女共同参画は進んでいると思うか？

学校では、クラスみんな仲が良く男女(性別による差)をあまり感じません。
地域では、地区の役員は男性ばかりなど性別による役割分担がまだまだあるように感じます。

Q7. そのためにどんなことが必要だと思いますか？

家事や子育ては女性がやるものなど性別役割分担の潜在意識はまだ残っています。しかし、性別に関わりなく、それぞれの得意なことを活かし、協力しながら生活していくことが必要だと思います。

Q2. キャッチフレーズに込めた思いは？

「無くそう 思い込み、守ろう 個性」には「自分の特技や個性を活かして生活できるそんな社会になるといいな」という思いを、「みんな」には「男女という性別にとらわれない」という思いを込めています。

Q4. 担任の先生に聞いた、戸塚さんってどんな人？

・普段から何にでも色々なことにチャレンジしている人。
例えば…聞き書き甲子園、政党ツアーに参加など
・自分で考え、率先して行動し、取り組んでいる人。
例えば…保健委員長として学校のごみ袋の変更

Q6. これからどんな社会になったらいいと思うか？

男性、女性などの性別にとらわれず、その人の特技や個性を活かして社会の役に立てる、生活できる社会になると良いと思います。

Q8. 最後に何か伝えたいことはありますか？

若い世代と大人のそれぞれの立場の意見を知る機会はありません。まずは、それぞれの立場の意見を知り、どちらか一方の押し付けにならないよう、みんなを巻き込んで議論できる機会があるといい。

無くそう 思い込み、
守ろう 個性

みんなでつくる、
みんなの未来。